

平成 30 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社インフォメーション・ディベロプメント
 代表者名 代表取締役社長 船越 真樹
 (コード：4709 東証第1部)
 問合せ先 社長室長 中谷 昌義
 (TEL.03-3262-5177)

業績予想の修正（上方）および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 1 月 4 日に株式会社フェスを連結子会社化いたしました。その影響ならびに最近の業績動向を勘案のうえ、平成 29 年 10 月 20 日付で公表いたしました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、同時に特別損失を計上することになりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,650	1,030	1,030	550	50.04
今回修正予想 (B)	23,100	1,220	1,250	610	55.69
増減額 (B - A)	450	190	220	60	—
増減率 (%)	2.0	18.4	21.4	10.9	—
(ご参考) 平成 29 年 3 月期実績	21,554	1,105	1,133	654	60.13

2. 修正の理由

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想における売上高は、平成 30 年 1 月に株式会社フェスを連結子会社化したことにより増加する見通しです。また収益面でも、株式会社フェスの子会社化の影響にくわえ、ソフトウェア開発における不採算案件が、プロジェクトマネジメントの効果により、想定よりも利益率が改善し納品できたこと、ならびに当社およびコンサルティング子会社の売上総利益率が改善したことなどにより、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を上回る見通しです。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益も、「3. 特別損失の発生」に記載の投資有価証券の減損にともなう特別損失を計上したにもかかわらず予想を上回る見通しです。

3. 特別損失の発生

当社が保有する投資有価証券の一部を減損処理することとともない、90 百万円を特別損失として計上することといたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想と異なる場合があります。

以 上